



第 17 号 平成 23 年 9 月 16 日

北越高等学校 1 学年便り

北越高校に広がれ 心の CULTURE !

明日は文化祭だ。

共同体の文化は継承されるものだ。日本人である僕らは日本の文化（英語や体育という文化も日本の文化だ）を学校で継承している、ともいえる。それはもちろん大事なことだ。だが、一人の個人として、君は、自分をもっと広げ、深めていけるんじゃないか？ 明日の文化祭を機会に、ちょっと立ち止まって考えてみてほしい。

毎日の生活の中で、人は自ら何かを求めなければ、与えられるものをこなすだけで日々は淡々と過ぎていく。「こなす」・・・好きな言葉じゃない。主体性を感じないからだ。「できれば避けて通りたい、でもやらないと怒られるからやっている」、そんな風に生きてもらいたくない。日常を「こなす」人間はその退屈さに耐えられず、手っ取り早い刺激を必ず求めるようになるだろう。ギャンブル、酒、暴力、などなど。

文化って人間の内面的な豊かさだと思う。

かつて、「すべてのことを、心をこめてやっごらん」というメッセージを受けたことがある。そうして、自分の日々を振り返ってみると、いかに自分がたくさんの方に「心をこめて」いないかという事実気付いて愕然としたことがある。

小さなことからいいんだ。例えば、掃除で黒板の係になったら、「心をこめて」きれいにする。放課後の小テスト、合格すればいいんでしょ、ではなく、「心をこめて」しっかり身につける。一日の終り、駅までの道を、ゆったりと心を開いて歩く、とかね。

そうすると、具体的にもっと豊かなものを求めたくなるんじゃないだろうか。行き帰りの電車の中で、携帯ではなく本を広げる。土曜講座や部活の帰りに映画を見てくる。韓流スターに興味があるだけでなく、韓国語の勉強を始める。そんな風にして、自分を広げていく人が増えるといい。

先日、夜 7 時過ぎに職員玄関を出たら、誕生したばかりの演劇部の生徒たちが文化祭の準備を終えて、その反省を話しながらそろって帰る姿をみた。なんだか、とてもうれしくなった。スポーツで県下に覇を唱える北越高校だが、文化部の生徒たちも頑張ってる。そして 1 年生はスポーツコースの 1, 2 組、そして修学旅行の行先であるグアム、シンガポール、オーストラリアを調査、展示する 3, 9, 10, 11 組がクラス参加する。

それぞれの完成度はどうあれ、必ず「心をこめて」つくったり、演じたりしている部分がある。その部分に心が寄り添っていくように、明日は一日、作品やパフォーマンスと向き合ってもらいたい。



☆ 読書の秋

担任の先生たちからのお勧めの本を紹介していきます。

○中村 誠 先生（学年部長）

おススメの本

『人体 失敗の進化史』 遠藤秀紀 / 光文社

私たちヒトは、二足歩行という、ある意味とんでもない移動様式を生み出し、そのために身体全体にわたって「設計図」をたくさん描き換えなくてはならなかった。人体、失敗の進化史です。理系に興味のある生徒、読んでみて下さい。

○湯浅忠一 先生（1組担任）

朝読書で読んだ本

『野村再生工場 ― 叱り方、褒め方、教え方』 野村克也 / 角川書店

「気づく」ということが人を成長（再生）させる上でいかに重要な要素か、野村さんの考え方を学ぶことによって「気づく」ことができる。

○皆川善之 先生（2組担任）

朝読書で読んだ本

『竜馬がゆく』 司馬遼太郎 / 文芸春秋

朝読書の時間を利用し、大作司馬遼太郎の『竜馬がゆく』全8巻を読みたいと思いました。

おススメの本

『旅する木』 星野道夫

1年生は英語Iで星野道夫さんとアラスカの生活について扱ったものを読みました。その星野さんが書いたエッセーになります。アラスカの大自然について書かれた大変心癒される本です。

☆ 特進コース 英検対策講座始まる

国際的な視野を持つ生徒として、本校の生徒が、将来、世界を舞台に活躍する人材になってほしいとの願いから、北越高校は新潟県からの指定を受け「世界に向かって個性輝く学校づくり推進事業」を本年度から進めていくことになりました。その一環として、特進コースの生徒を中心に英検対策の講座を2学期からスタートさせています。今回は、カナダ出身のALT、ダスティン先生の自己紹介を載せます。みんな辞書を引きながらちゃんと訳してね。

Dustin's Self-Introduction

Hello Hokuetsu students! This is my second year at Hokuetsu as an English teacher. At Hokuetsu, most students greet me in the morning by saying "Good morning Dustin!!" with a cheerful voice. It makes me very happy to hear this and gives me energy for the day. It also shows that some students are really trying to communicate using English and it makes me very happy.

At Hokuetsu, I enjoy watching the students practice with their teammates. I can hear the cheers in the teacher's office from the players and it is very exciting. I sometimes talk to the players and we use English. I hope they will remember me when they become famous athletes one day in the future.

I look forward to talking and meeting everyone this year. I hope to help the students have a better chance to study and use their English in a natural enjoyable way.

See you next time!

Dustin